福岡大学病院　脳神経外科　卒後臨床研修プログラム

【概要】

当教室の卒後臨床研修プログラムは、全身管理や外科の基礎知識の教育から始まり、脳・脊髄・末梢神経の病態生理と解剖を理解し、高度な専門性をもつ脳神経外科専門医を育成することを目標としています。同時に医師としての人間性を養い、患者・家族により沿いながらチーム医療を円滑に行える人材の育成が重要と考えています。脳神経外科専門医取得後は、脳血管内治療専門医、脳卒中専門医、脳卒中の外科技術認定医、神経内視鏡技術認定医、機能的定位脳手術技術認定などのサブスペシャリティーの資格を取得することを目標としています。

医局にはマイクロサージェリートレーニングルームを常設し、実際の手術用顕微鏡と手術機器を使用して手羽先の血管や人工血管を用いた血管吻合トレーニングや、微小脳神経外科解剖の研究が常時行える環境を整えています。さらに、脳血管内カテーテル実習や神経内視鏡実習が行える環境を整え、様々なサブスペシャリティーをもったスタッフによる直接指導を受けることができます。

当院では脳血管障害、良性脳腫瘍、悪性脳腫瘍、機能的疾患、脊髄脊椎疾患、頭部外傷、小児疾患、末梢神経疾患など幅広い診療を行っていることが特徴で、脳神経外科領域のほぼ全ての分野を扱っています。さらに、救命救急センターと協力し、緊急性の高い疾患や重症患者の初期対応や全身管理を学ぶことができます。

手術は開頭顕微鏡手術、神経内視鏡手術、脳血管内手術、定位脳手術、脊髄脊椎手術、末梢神経手術と幅広い外科治療を行っています。近年は脳血管内手術や内視鏡手術等の低侵襲手術の割合が増えていますが、治療が困難である頭蓋底病変や複雑な動脈瘤等に対する高難度手術にも積極的に取り組んでいます。開頭手術と脳血管内手術を組み合わせたハイブリッド治療や定位脳手術による難病に対する治療なども積極的に行っています。

代表的な関連施設は福岡県内に福岡赤十字病院、白十字病院、白十字リハビリテーション病院、福岡市民病院、福岡東医療センター、福岡青洲会病院、松本病院等があり、県外には佐世保中央病院、河野脳神経外科病院、沖縄県立宮古病院、済生会唐津病院等と多くの関連施設を有し、幅広く地域医療も学ぶことができます。また、国内留学や海外留学、大学院への進学も積極的に行っており、グローバルに活躍できる医師の育成に取り組んでいます。女性医師も多く在籍しており、個々の生活環境を考慮した臨床研修プログラムを構築しています。

福岡大学医学部脳神経外科公式ホームページ
http://www.med.fukuoka-u.ac.jp/neurosur/